



2020年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 株式会社 ティア
 コード番号 2485 URL <https://www.tear.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

(氏名) 富安 徳久

(氏名) 辻 耕平

TEL 052-918-8254

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	3,377	3.4	393	14.7	390	13.6	261	15.2
2019年9月期第1四半期	3,266	8.2	461	17.6	451	15.9	308	16.3

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 261百万円 (15.2%) 2019年9月期第1四半期 308百万円 (16.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	11.66	
2019年9月期第1四半期	14.93	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	13,407	9,067	67.6
2019年9月期	13,301	8,940	67.2

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 9,067百万円 2019年9月期 8,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		5.00		6.00	11.00
2020年9月期					
2020年9月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,010	4.7	840	14.9	840	14.7	570	15.2	25.44
通期	13,695	7.2	1,220	5.5	1,215	5.5	815	3.0	36.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期1Q	22,404,800 株	2019年9月期	22,404,800 株
期末自己株式数	2020年9月期1Q	1,470 株	2019年9月期	1,470 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期1Q	22,403,330 株	2019年9月期1Q	20,643,012 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産面において海外経済や自然災害の影響がみられるものの、企業の設備投資の増加や雇用・所得環境の着実な改善を背景に、緩やかな拡大基調となりました。また、海外経済の成長率の高まりによる輸出の増加、オリンピック開催に伴う政府支出等により、今後も景気の拡大基調は持続するものとみられておりますが、新興国・資源国経済の動向や欧州の政治情勢、消費税率引き上げの影響等、先行きに対する不透明感は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、葬儀単価におきましては、核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。また、直近の業界環境といたしましても、前年同期と比較し葬儀件数は増加する一方、葬儀単価は低下しております。

かかる環境下、当社グループは顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、中長期目標200店舗体制の実現とその後の持続的な成長を目指すべく「オンリーワンブランド“ティア”」のスローガンのもと、ローリング方式により中期経営計画を策定し、4項目のテーマを設け7つの戦略を推進してまいりました。新規出店の状況につきましては、直営は東京都内に葬儀相談サロン「ティア押上」を開設し、フランチャイズでは、愛知県下に「ティア安城桜井」を開設いたしました。これにより直営69店舗、フランチャイズ49店舗の合計118店舗となりました。売上原価におきましては、葬儀付帯業務の内製化を推進したものの労務費等が増加し、経費面では中長期の出店を見据えた人材の確保や、営業チャネルの多様化に伴う広告宣伝費等が増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は33億77百万円（前年同期比3.4%増）となり、売上原価率は前年同期と比べ0.3ポイント上昇し、販売費及び一般管理費は前年同期比12.0%増となりました。これにより、営業利益は3億93百万円（同14.7%減）、経常利益では3億90百万円（同13.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億61百万円（同15.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 葬祭事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等を積極的に取り組んでまいりました。また、提携企業で特典や割引が受けられる等の会員向け優待サービス「ティアプラス」の充実にも努めてまいりました。葬儀件数におきましては、既存店の件数が増加したのに加え、新たに開設した会館の稼働により、前年同期比6.9%増の2,891件となりました。葬儀単価におきましては、葬儀付帯品の単価は維持したものの、祭壇売上や供花売上の単価が低下し、前年同期比3.3%減となりました。この結果、売上高は32億72百万円（同3.1%増）、営業利益は6億40百万円（同4.8%減）となりました。

(b) フランチャイズ事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、フランチャイズの会館が前年同期と比べ4店舗増加し、これによりF C会館向けの物品売上が増加いたしました。また、下期に開設予定のF C会館の加盟料売上を計上いたしました。この結果、売上高は1億5百万円（同12.9%増）、営業利益は22百万円（同20.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は38億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億31百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1億94百万円、売掛金が34百万円増加したことによるものであります。固定資産は95億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億25百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が80百万円、有形固定資産が36百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、134億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は21億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が94百万円減少したものの、短期借入金が1億82百万円増加したことによるものであります。固定負債は21億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1億8百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、43億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は90億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億26百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2億61百万円及び剰余金の配当1億34百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月8日に公表いたしました、「連結業績予想」「配当予想」に変更はございません。

連結業績予想の前提条件としましては、葬祭事業におきましては、既存会館が堅調に推移する見通しなのに加え、新規出店の稼働による増収効果を見込んでおります。また、フランチャイズ事業におきましては、新規クライアントの開発を積極的に行うとともに、会館向け物品販売の拡大を図ってまいります。経費面では取扱商品の見直しや、葬儀付帯業務の内製化等の商品原価率の低減を推進する一方で、「直営会館8店舗開設に伴う会館開設費用」「積極的な新卒採用及び賃金制度改定に伴う人件費」「営業チャネルの多様化に伴う広告宣伝費」等を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,968	3,163
売掛金	410	445
商品	49	52
貯蔵品	49	57
その他	156	147
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	3,629	3,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,088	6,003
土地	1,516	1,516
その他(純額)	604	653
有形固定資産合計	8,209	8,173
無形固定資産	95	86
投資その他の資産		
差入保証金	921	899
その他	446	388
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	1,366	1,285
固定資産合計	9,671	9,546
資産合計	13,301	13,407
負債の部		
流動負債		
買掛金	323	391
短期借入金	83	266
1年内返済予定の長期借入金	598	545
未払法人税等	192	98
賞与引当金	159	96
その他	750	792
流動負債合計	2,107	2,189
固定負債		
長期借入金	1,230	1,121
資産除去債務	606	608
その他	416	419
固定負債合計	2,253	2,150
負債合計	4,360	4,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,872	1,872
資本剰余金	1,506	1,506
利益剰余金	5,561	5,688
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,940	9,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	8,940	9,067
負債純資産合計	13,301	13,407

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,266	3,377
売上原価	1,928	2,002
売上総利益	1,338	1,375
販売費及び一般管理費	876	981
営業利益	461	393
営業外収益		
受取利息	1	1
受取保険金	10	—
広告料収入	1	3
その他	2	2
営業外収益合計	16	6
営業外費用		
支払利息	8	6
株式交付費	17	—
和解金	—	3
その他	0	0
営業外費用合計	25	10
経常利益	451	390
税金等調整前四半期純利益	451	390
法人税、住民税及び事業税	75	78
法人税等調整額	68	51
法人税等合計	143	129
四半期純利益	308	261
親会社株主に帰属する四半期純利益	308	261

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	308	261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
その他の包括利益合計	△0	0
四半期包括利益	308	261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	308	261
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,173	93	3,266	—	3,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	3,173	93	3,266	△0	3,266
セグメント利益	673	18	691	△230	461

(注) 1. セグメント利益の調整額△230百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△230百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,272	105	3,377	—	3,377
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	3,272	105	3,377	△0	3,377
セグメント利益	640	22	663	△269	393

(注) 1. セグメント利益の調整額△269百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△269百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。